

紛糾した第11回法定協  
28日、大阪市役所



大阪府・市

# 法定協が紛糾

## 自民の廃止動議めぐり

大阪市を廃止し、特別区に分割する「大阪都」構想を再び話し合う、第11回大都市制度（特別区設置）協議会（法定協）が28日、大阪市役所で開かれ、自民の動議をめぐる紛糾し、閉会しました。

維新の質問の後、自

民が大都市制度（特別区設置）協議会の廃止の申し入れに関する動議を提出し、協議会が中断。代表者会議で動議の取り扱いを協議し、再開した協議会で、会長が「次の法定協を早急に開いて、動議の採決を図りたい」

と提案しました。

これを受け、松井一郎知事が「会議自体をなくそうという動議が出ている中で、このまま議論ということは問題、動議を採決するか取り下げるかだ」と語り、吉村洋文市長が「動議の結論が出ない限りは（協議会の）議論をやらない」という動議を提出し、全会一致で閉会しました。